

7月6日 「開校記念日」

7月5日は何の日だかわかりますか。7月5日は、千束小学校の開校記念日です。

お休みになるときは、開校記念日を意識しますが、昨日は日曜日でしたので、気付かなかった人もいるのではないのでしょうか。

千束小学校は、今年で創立121年となります。昨年は120周年記念行事を行いましたので、今年が121周年ということを知っている人もたくさんいますね。

さて、千束小学校が開校したのは明治39年です。「明治」というのは、今が「令和」の時代ですから、「令和」「平成」「昭和」「大正」「明治」と4つ前の時代にできました。

開校したころの千束小学校の写真です。白黒写真をカラーに変えていますので左右の写真で少し違いがありますが、レンガの門の立派な建物です。着物を着た小学生が登校するのが見えます。

このころの千束通りの写真もありました。今は自動車がたくさん走っていますが、昔の写真では、大八車が走っています。人と車で賑わってい

7月5日は何の日？

千束小学校の  
開校記念日



千束小学校は  
明治39年  
にできました

令和 ← 平成 ← 昭和 ← 大正 ← 明治

## 開校したころの千束小学校



## 開校したころの千束通り



## 開校したころのこどもたち



るのは、今も昔も変わりません。また、凌雲閣の姿も見えます。明治時代から大正の関東大震災で崩れてしまうまで、浅草のシンボルでした。12階建てだったため「浅草十二階」とも呼ばれていて、日本で初めてエレベーターが使われた建物としても知られています。今の千束小学校からは、東京スカイツリーが見えます。東京を代表する、日本を代表するタワーを見ることができるというのも、今と昔で共通している所です。

開校のころの授業風景の写真もありました。これも、白黒写真をカラーにしています。今よりも人数が多いですね。そして男子と女子が別々になって勉強しているのが分かります。両方とも、今の図工と同じような授業をしています。女子は羽子板を作っています。男子は木の工作をしているのでしょうか。かんなをかけている子がいます。とても真剣に取り組んでいますね。

次は今の千束小学校の子供たちの写真です。図工の授業の写真もあります。昔と今では違うこともたくさんありますが、いきいきと学んでいることは共通しています。みなさんも、昔の千束小学校の子供たち、先輩たちに負けないくらい、一生懸命にがんばっています。



今日は、昨日の開校記念日にちなんで、昔の千束小学校の様子を紹介し、昔も今も、千束小学校の子は同じようにいきいきと頑張っているということをお話しました。